

質 疑 要 旨

佐藤正幸議員 No. 1

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>1 予算の全体像について 昨年末に成立した国補正予算に盛り込まれた能登の復旧・復興費は、今議会に提案された県予算案にどのように反映されているのか。</p> <p>2 被災者支援について (1) みなし福祉避難所について ア 居住費及び食費が無料となる特例措置が原則として1月末で終了したが、引き続き無料とする措置を講じるべきと考えるがどうか。 イ 半壊未満の介護施設にいた高齢者に対しても、避難先施設における介護サービス利用料を免除すべきと考えるがどうか。 (2) 仮設住宅の環境改善について ア 2人世帯の避難者が、居室が2部屋ある仮設住宅に入居できるようにするため、民有地での建設や転居といった取り組みに対して国からの支援が必要と考えるがどうか。 イ 除雪について起こった問題やその対策を聞く。 ウ 来冬に備え、電気こたつの購入支援など寒さ対策を検討すべきと考えるがどうか。 エ 仮設住宅の近くで家庭菜園を行う環境を整えるなど奥能登の高齢化の実態に合わせた対策を検討すべきと考えるがどうか。 (3) 被災地域の障害者への支援について ア 市町と協力し、支援が必要な障害者等をデータベース化し、仮設住宅や病院等を回るコミュニティバス事業を始めてはどうか。 イ 障害者や家族等の困りごとに対応できるよう、専門的支援者による障害者事業所への定期的訪問が必要と考えるがどうか。 ウ 特に重度の障害のある方の就労支援事業所における作業の確保が求められているが、県はどのように対応するのか。 エ 6月補正予算で計上した離職防止や新規就労者確保に係る特別手当支給への支援について、障害者分野での実績を聞く。</p>	<p>知 事 総 務 部 長</p> <p>知 事 復旧・復興推進部長 企画振興部長 文化観光スポーツ部長 健康福祉部長 商工労働部長 土 木 部 長</p>

この質疑要旨は、3月5日午後5時30分に取りまとめたものです。

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>(4) 被災した外国人技能実習生への支援にどのように取り組んでいくのか。</p> <p>(5) なりわいの再建に向けて</p> <p>ア 県の能登事業者支援センターと中小企業庁の能登産業復興相談センターはどのように連携しているのか。また、事業再開の希望を持てるよう永続的な支援が必要と考えるがどうか。</p> <p>イ なりわい再建支援補助金の運用において、事業者からの要望に基づいて改善・充実が図られた主な内容を聞く。</p> <p>ウ 観光庁に採択された「観光産業の再生・高付加価値化事業」が進んでいないと聞くが、実態を聞く。</p> <p>エ 観光庁の「観光再生支援事業」とどのようにタイアップしていくのか。</p> <p>(6) 住まいの再建に向けて</p> <p>ア 生活再建に課題を抱える世帯へのアドバイザーによる伴走支援事業について、具体的な支援対象や支援内容を聞く。</p> <p>イ 新築する際に被災地外の工務店等に依頼した場合のかかり増し経費への支援を要望する声を聞くが、所見を聞く。</p> <p>(7) 人口流出の防止に向けて</p> <p>ア 医療・介護提供体制の確保が欠かせないと考えるが、奥能登公立4病院の統合にあたり、知恵を出し合う必要があるのではないか。</p> <p>イ 医療・介護事業者の社会保険料負担への支援を検討すべきと考えるがどうか。</p> <p>ウ 住民の自治の力を引き出すため、能登官民連携復興センターの今後の活動について聞く。</p> <p>エ 能登地域公共交通計画を実現するため、民間事業者任せではなく、県としてどのように責任を果たしていくのか。</p>	

質 疑 要 旨

佐藤正幸議員 No.3

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>3 地震対策検証委員会の検証結果中間案について</p> <p>(1) 地震被害想定ของ甘さや、高齢化率の高い地域での介護に関する対応への認識不足について、記述すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 昨年国が策定した道路啓開計画を踏まえ、初動対応として教訓にすべきことは何か。</p> <p>(3) これまでの職員削減を検証し、県・市町職員の増員に向け、国に財政支援も求めるべきと考えるがどうか。</p>	<p>知 事 総 務 部 長 危 機 管 理 監 健 康 福 祉 部 長 土 木 部 長</p>
<p>4 国民健康保険について</p> <p>(1) 来年度から保険料を増額する市町はどの程度になると見込んでいるか。</p> <p>(2) 国民健康保険財政安定化基金をさらに取り崩すとともに、国に特別の公費投入を要請すべきと考えるが、県の姿勢を聞く。</p>	<p>知 事 健 康 福 祉 部 長</p>
<p>5 特定利用港湾について</p> <p>(1) 特定利用港湾の指定についての申し入れは、いつ、誰が誰に行われたのか。また、指定の対象は金沢港だけなのか。</p> <p>(2) 年度内の指定に向けた国との協議を進める方針を撤回し、拒否すべきと考えるが、所信を聞く。</p>	<p>知 事 土 木 部 長</p>

この質疑要旨は、3月5日午後5時30分に取りまとめたものです。